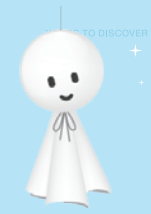
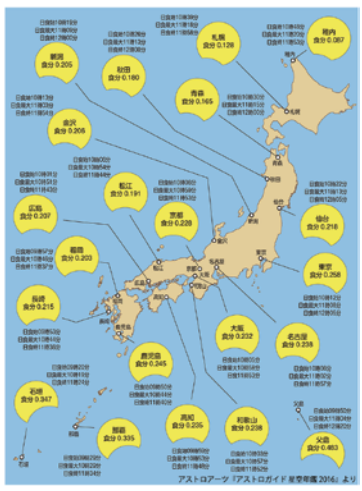
2016 年 3 月 9 日（水）

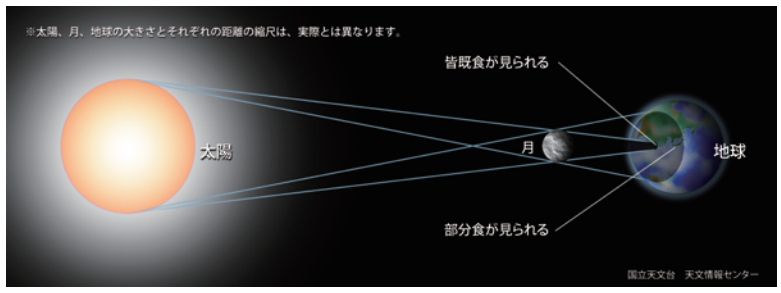
部分日食



3 月 9 日の朝から昼ごろにかけて，日本全国で部分日食が見られます．日本で日食が見られるのは 2012 年 5 月の金環日食以来です．この日食は，東インド洋からインドネシア，北太平洋では，継続時間およそ 2〜4 分の皆既日食となります．

大阪では，10 時 58 分に 22.3% の食分





大阪工大情報科学部のキャンパスからは次のような部分食が見られます．

北緯 34 度 50 分 29.13 秒

東経 135 度 42 分 18.158 秒

	方向角[°]			太陽[°]		視半径[″]			かける割合		
時刻	北極	極頂	天頂	高度	方位	太陽	月	角距離	食分	面積比	
10:05:44	194	-34	228	41.4	137.6	966	1005	1972	0.000	0.000	食の始め
10:20:00	186	-31	216	43.3	141.6	966	1006	1776	0.102	0.039	
10:40:00	170	-26	196	45.7	147.8	966	1006	1587	0.199	0.105	
10:58:53	154	-21	175	47.6	154.1	966	1007	1526	0.231	0.130	食の最大
11:00:00	153	-21	174	47.7	154.5	966	1007	1526	0.231	0.130	
11:20:00	136	-15	151	49.2	161.6	966	1007	1602	0.192	0.099	
11:40:00	122	-9	131	50.3	169.2	966	1007	1796	0.092	0.033	
11:53:17	114	-5	119	50.7	174.3	966	1008	1974	0.000	0.000	食の終り

直接太陽を見るのは目に危険．　木もれ日を見てみよう

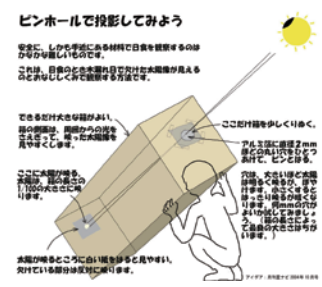
太陽はたいへん強い光と熱を出しています．部分食のときには，太陽の一部は月によって隠されていますが，光や熱が強いことに変わりはありません．今回の**部分日食では，普段の明るさと大差なく，言われないと気づかないほどです．**

正しい方法で観察しないと，目を痛めたり，最悪の場合失明したりする危険性があります．

以下のようなことは，「日食網膜症」になりますので**絶対にやってはいけません．**

必ず専用の日食グラスを使ってください．サングラスなどでは見た目ではあまりまぶしく感じなくても，光の遮断が不十分なものや，目に見えない赤外線を通しやすいものがあり，気づかないうちに**赤外線によって**網膜が焼けてしまう危険性があります．

望遠鏡や双眼鏡は光を集めるので，肉眼以上に危険です．



安全に観測するには，

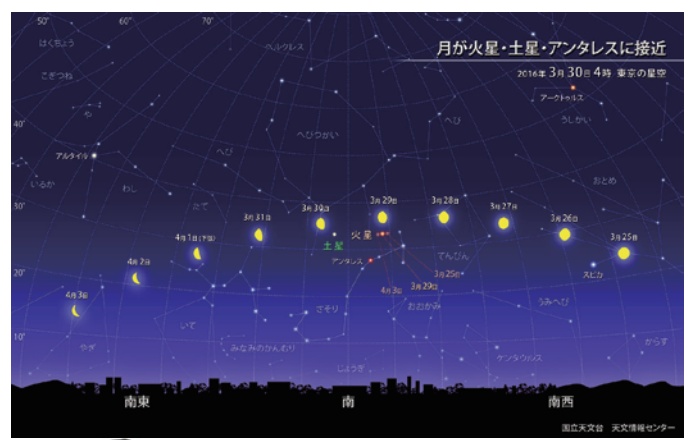
専用の日食グラスを使う・ピンホールを利用する *

木漏れ日を見る・鏡で建物に太陽を映し出す

など，細心の注意を払ってください．

* 厚紙など光を通さない薄いシートに小さな穴を開けて日食中の太陽の光を当てると，穴を通って影の中に映った太陽の光が，欠けた太陽の形になります．(ピンホールカメラの原理)

おまけ：3 月下旬は，月が火星と土星とアンタレスに接近



図版は国立天文台の web ページから．　このポスターは の web ページよりダウンロードできます．